

# 施策評価調書

## 1 施策の概要

(1)	施策名	青少年の居場所づくり					
(2)	総合計画の体系	第	04	章	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
		第	01	節	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
		第	40	細節	青少年の居場所づくり		
(3)	事業費など (単位:千円)	項目\年度(平成)		27年度決算額	28年度決算見込額	29年度予算額	
		事業費(A)		60,149	63,089	68,532	
		従事職員数		7.00 人	7.70 人	7.70 人	
		所要人件費(B)		56,275	60,830	62,001	
		総事業費(A+B)		116,424	123,919	130,533	
		財源内訳	収	国庫支出金	0	0	0
				府支出金	3,454	3,404	3,593
				その他	178	199	191
			入	地方債	0	0	0
				その他	0	0	0
一般財源	112,792			120,316	126,749		

## 2 評価の指標(施策に係る成果指標)

指標項目		項目\年度(平成)	27年度実績	28年度実績	29年度計画
指標内容	こどもプラザ事業の実施回数	目標値 (単位:回)	2,243.00	2,398.00	2,300.00
		実績値 (単位:回)	2,114.00	2,250.00	
目標値の積算方法	前年度のこどもプラザ事業の実施回数	達成度(%)	94.2	93.8	
指標内容	自然体験交流センター施設利用者数	目標値 (単位:人)	37,000.00	40,000.00	44,000.00
		実績値 (単位:人)	43,872.00	46,602.00	
目標値の積算方法	指定管理者の設定した目標値	達成度(%)	118.6	116.5	

## 3 施策の点検(施策を進めるうえでの課題)

市民ニーズの多様化により、各施設は特色を活かした事業を実施している。年1回、施設連携会議を開催し、他施設の優れた運営方法等について取り入れたり、事業のPRを連携して行うなど、連携を進めている。また、利用者に安心して安全に利用していただくために、定期的な施設の補修は必要である。こどもプラザ事業などについては地域や学校、家庭等の協力を得ながら実施しており、太陽の広場については、国の放課後子ども総合プランの掲げる目標を一定満たしており、実施回数については、地域の実情に合わせて実施しており差はあるものの、放課後こども育成課と連携して市内全36小学校で実施している。放課後の居場所づくりとして、地域のボランティアが「地域の子どもは地域で守り、育てる」という理念のもと取り組んでいる点が吹田の特色であり、5年、10年と継続できるよう、支援が必要である。

4 施策の評価

次年度の優先順位	施策を構成する事務事業名	室課名	事業番号	市単独事業区分	施策への貢献度	各視点からの評価 (20 → 4) 高 → 低						今後の方向性 (実施計画)
						妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計	
1	こどもプラザ事業	青少年室	00999	一部	大	18	20	18	20	18	94	継続
2	青少年活動サポートプラザ施設運営事業	青少年室	01006	全部	大	20	18	18	20	18	94	拡充
3	青少年クリエイティブセンター施設運営事業	青少年室 青少年クリエイティブセンター	01004	全部	大	18	16	20	20	20	94	継続
4	非行防止・環境整備事業	青少年室	00996	全部	大	20	18	16	20	16	90	継続
5											0	
6											0	
7											0	
8											0	
9											0	
10											0	
11											0	
12											0	
13											0	
14											0	
優先順位をつけるにあたっての考え方		青少年施設では、それぞれが特色ある独自の取組みをしており、甲乙つけがたい										